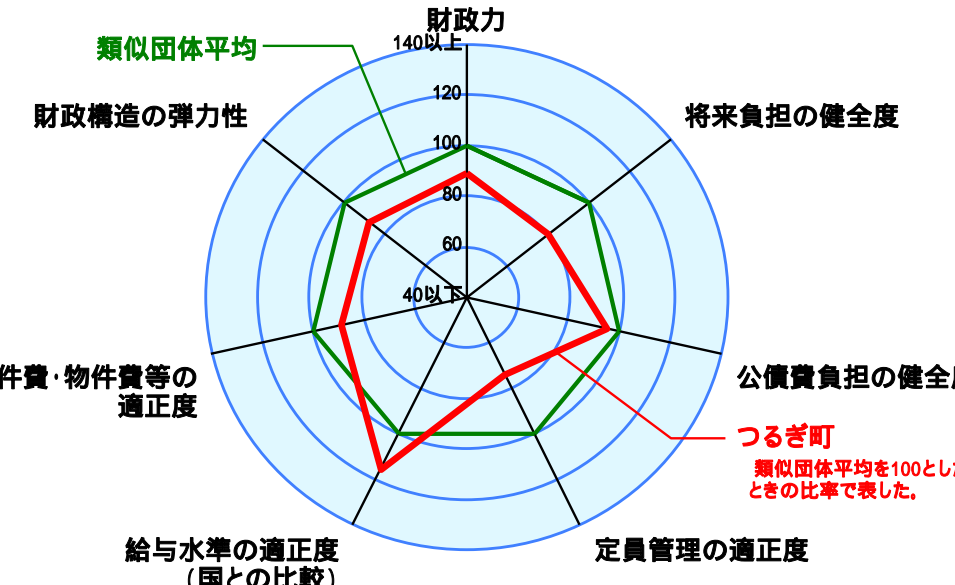
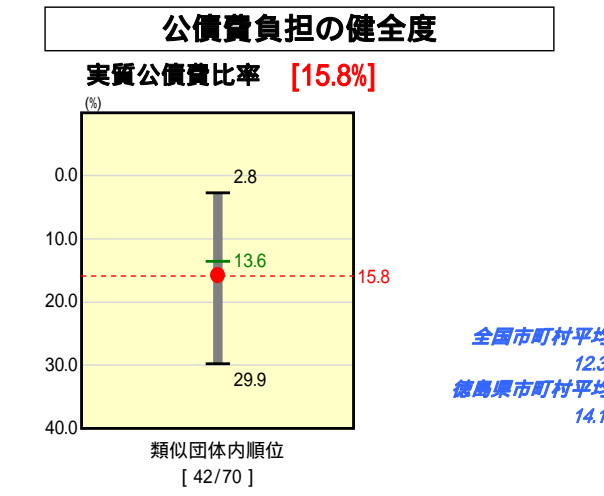
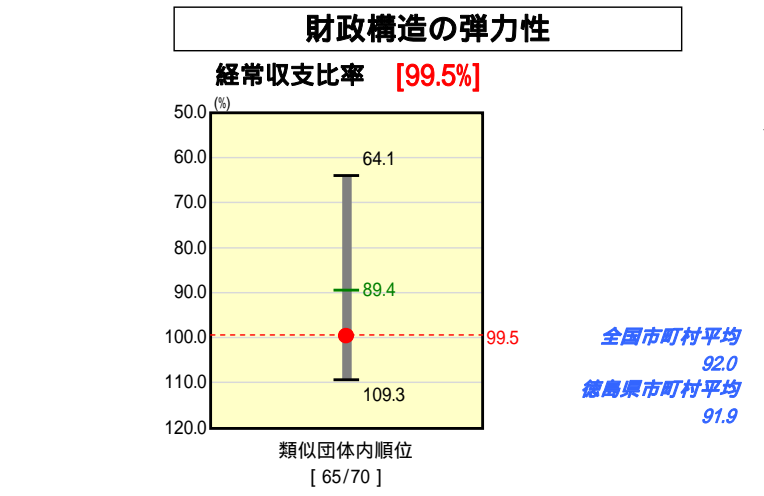
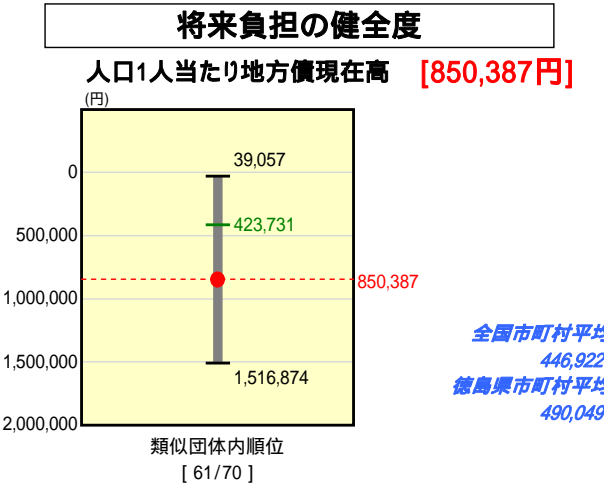
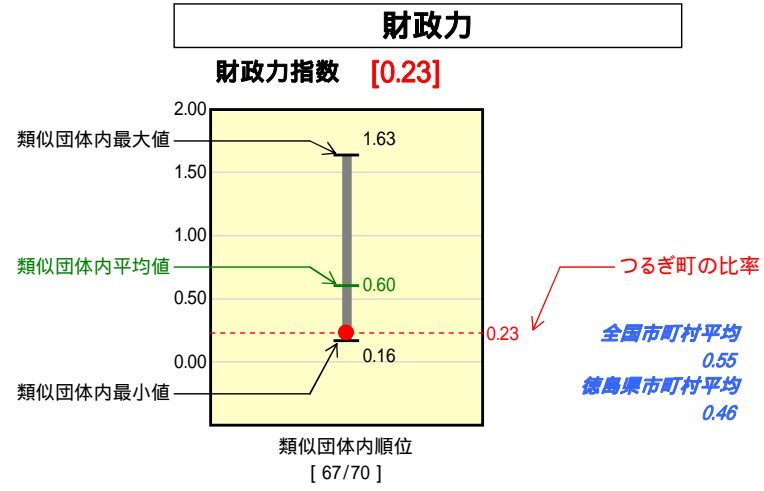


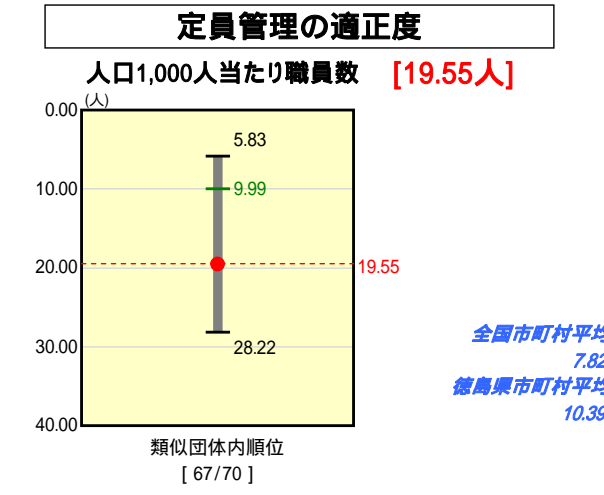
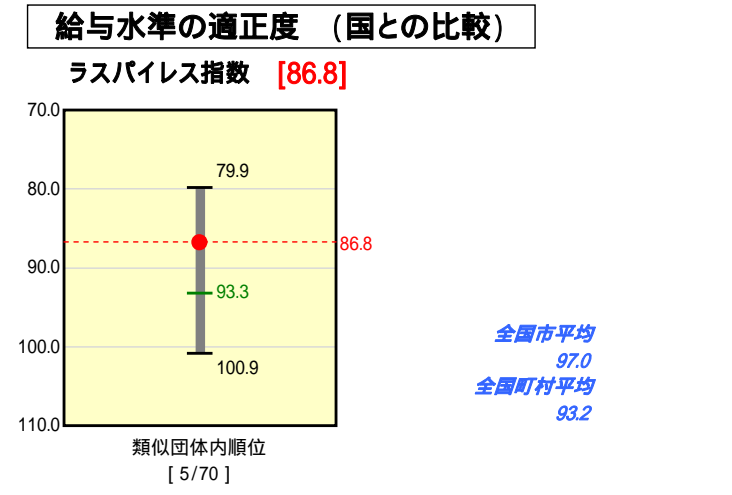
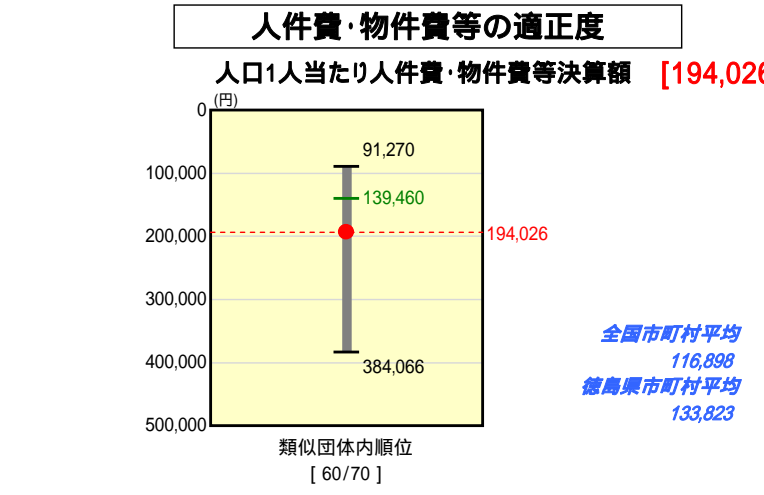
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 徳島県 つるぎ町

人口	11,764 人(H20.3.31現在)
面積	194.80 km <sup>2</sup>
歳入総額	7,926,222 千円
歳出総額	7,765,207 千円
実質収支	159,405 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
 平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
 ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**  
 人口減少や全国平均を大きく上回る高齢化率(19年度末38.3%)であり、財政基盤が弱く、類似団体平均を大きく下回っている。組織の見直し、事務事業の峻別、投資的経費の抑制等徹底的な歳出削減を実施するとともに、税収の徴収率向上を中心とする歳入確保に努め、活力あるまちづくりの展開、行政の効率化を図り、財政基盤の強化に努める。

**経常収支比率**  
 H18決算102.9%から若干の改善が見られるが、依然として類団平均を大きく下回っている。H18年度からの人件費カット、物件費(対前年度10%削減)、補助費(各種団体補助金は公益性を考慮し、補助率を設定)等、経常経費の削減に努めている。今後も人件費カット、事務事業の優先度を厳しく点検し、経常収支比率90%以下を目標に徹底した経費削減に努める。

**ラスバイレス指数**  
 H18年度からの給与カット(特別職10~15%、職員5%、議会議員報酬10%カット)等により、類似団体平均を大きく上回り、人件費削減に効果を示している。今後も各種手当の総点検を行い、集中改革プランに則った退職者5名に対し、新規採用1名を実践し、更なる給与適正化に努める。

**実質公債費比率**  
 類似団体平均を下回っているが、新規地方債の発行抑制、繰上償還、借換等により償還金の抑制、縮減に努め、地方債依存の財政構造の改善を図る。  
 人口1人当たりの地方債残高  
 新規発行債の抑制、繰上償還、借換債による償還金の抑制・縮減に努めているが、集中改革プランのに基づき、類似団体平均に近づけるように努める。  
 人口1,000人当たり職員数  
 類似団体と比較すると突出して多く、更なる削減が必要である。行政サービスを保ちつつ、組織の整理等により、類似団体平均の水準まで職員数を削減するとともに、集中改革プランに沿った事業の見直し、民間委託の活用等により更なる定員管理に努める。  
 人口1人当たり人件費・物件費等決算額  
 類似団体平均を大きく上まわっているのは、主に人件費が要因となっている。今後は、民間で実施可能な部分については、指定管理者制度の導入等の委託化を進め、コストの低減に努める。